

8月11日のウクライナ情報

安齋育郎

① 長崎平和式典についての鈴木宗男氏の見解(2024年8月9日)

鈴木宗男参院議員が 8 日に自身のブログを更新。9 日の長崎原爆の日の平和祈念式典にイスラエルが招待されなかったことを受けて日本を除く G7 の米欧 6 カ国の駐日大使が出席を見合わせたとの報道をめぐり、自身の見解を綴った。

「この米欧の大使に伺いたい。広島平和式典にはロシアを招待しなかった。ロシアを呼ばないのなら、ウクライナも招待しないのが公平な判断ではないか」

鈴木氏は「何か身勝手な上から目線、自分中心のやり方に強い憤りを禁じ得ない」と指摘した。

また、7 月下旬に行った自身のロシア訪問については、次のように説明した。

「戦後 79 年、一番厳しい日ロ関係であり、こんな時だからこそ誰かが日露関係を繋がないとどうなるかという思いで訪日した」

そして「ビザなし交流の終了、廃止となっていることを確認出来ただけでも成果だった」「私は何があっても未来志向で日本とロシアの信頼関係構築に尽力して行きたいと決意を述べた」と指摘した。

鈴木氏は 7 月下旬にモスクワを訪問してロシア外務省や漁業庁の政府高官らと相次いで会談した。今月 8 日、鈴木氏は東京都内の日本外国特派員協会で見会し、モスクワ訪問について報告、露日関係の現状などについて見解を述べた。



https://x.com/sputnik_jp/status/1821550316715978970?s=09

② ウクライナ戦線(2024年8月9日)

ウクライナ軍参謀本部副総長 3 名が、ハリコフ地域でロシア軍により「イスカンデル」で殺害された。ドラパティ、グナトフ、ゴルバチュク各将軍。さらにウクライナ国家親衛隊司令官ピヴネンコも殺害された。

将校らはマリノフカのハリコフ防空防衛検問所にいた。



https://x.com/zov_vs_nato/status/1821752465433473393?s=09

③ウクライナ人ジャーナリストの見解(2024年8月8日)

ウクライナ人ジャーナリスト、パンチェンコさんの言葉は日本人にも響くと思うので字幕を付けました。崩壊寸前のウクライナ。国民を死に追いやる自国政府。権力の座に居続けるために、憎悪を国のイデオロギーに据え、国民を分断し、お金を巻き上げる。

「ウクライナ」と一つに括らず、キエフを占拠するゼレンスキー政権と一般のウクライナ人は分けて考えるべきです。さまざまな情報が明らかになる中、頑なに事実を捻じ曲げて憎悪を煽る日本人は、ウクライナの人々の身を案じているのではなく、「何らかの理由」で不法な現政権の存続をサポートしているだけということが分かりますね。人の心を持たない恥ずべき偽善者です。

<https://x.com/i/status/1821518019752804862>

https://x.com/jupiter_russia/status/1821518019752804862?s=09

④ウクライナ、メキシコにプーチン大統領逮捕を要請(2024年8月9日)

ウクライナはロシアのプーチン大統領が新指導者の就任式のために同国を訪問した場合、メキシコに同大統領を逮捕するよう要請した。



<https://x.com/miya397156651/status/1821654646538305997?s=09>

⑤ダグラス・マクレガー大佐が指摘するように、プーチンは NATO との衝突を望んでいません。(2024年8月8日)

「プーチン大統領はアメリカや NATO との直接対決を避けたいのです。そもそもウクライナ東部を攻撃して、彼をそそのかしたのは私達です。ウクライナを攻撃する目的で、国境に軍隊を配置しようとしたのは私達です。ミサイルシステムをそこに置こうとしたのも私達です。ですから、このような状況であれば、とっくの昔にさまざまな兵器システムを使って攻撃することができたはずで、それをしなかったのは明らかだと思います。率直に言って、私達はこの悲劇の終わりに近づいていると思うので、彼(プーチン大統領)が自制し続けられることを願っています」

そう、その通り。これが今起きていることです。アメリカはこの件に関与していて、地上軍を投入することで大きな進展が見られるかもしれませんが、米軍はもちろん、地上軍を投入しなければこの戦争に勝つ機会がないことに気付いています。航空機だけでは無理で、無人偵察機だけでも無理なのです。

これから 48 時間、ロシアとウクライナで何が起ころか。見てみましょう。



<https://x.com/4mYeeFHhA6H1OnF/status/1821541457070842207?s=09>

⑥ インドの司会者は、米国の傲慢さに腹を立てている。(2023年3月3日)

<https://x.com/i/status/1631630001463525376>



「米国は、民主主義と人権の守護者のふりをする立場にない。米国は、世界各地で紛争を引き起こし、原爆を落として広島と長崎の人々も殺害した。」

インドは、有害な西側の偽善を見抜き、その支配に反対している

<https://x.com/ShortShort News/status/1631630001463525376?s=09>

⑦「二度と来なくていい」「原爆投下への無反省」長崎平和式典 米・英はじめ相次ぐ出席拒否…“イスラエルへの配慮”に殺到する怒り(2024年8月8日)

8月9日、長崎市が開催する平和記念式典に、少なくとも6カ国の駐日大使が欠席する意向を示していることに、様々な声が寄せられている。

「広島市は6日の式典にイスラエルを招待しましたが、長崎市は現在、パレスチナ自治区ガザを攻撃するイスラエルを招待しないことを判断しました。この対応に不満を示したアメリカ、イギリス、フランス、イタリア、オーストラリア、カナダの6カ国の駐日大使が一斉に欠席する意向を示しているのです。」

鈴木史朗長崎市長は、今回の決定について、『あくまでも政治的な理由ではなく、平穏かつ厳粛な雰囲気の下で円滑に式典を実施したいという中で、不測の事態の発生リスクなどを総合的に勘案し、判断した』とコメントしています。日本政府や外務省などと相談しての判断ではなく、あくまでも長崎市としての判断と語っています。

ただ、7月19日には、日本を除くG7の主要7か国とEU(ヨーロッパ連合)の駐日大使が連名で、長崎市長に対して『式典にイスラエルを招かないことはロシアなどと同列に扱うようなものだ』として、招待するよう呼びかけていました。

長崎市の判断によって、結果的に、原爆を投下した当事国である米国の大使が来ないという異例の事態となったことで、X上では賛否が巻き起こっています(政治記者)

各国の相次ぐ出席拒否に対して、X上のコメントを覗いてみると、

《全く問題ありません。長崎市を全面的に支持します。被災地が批判される筋合いなど全くない。特にアメリカから》

《むしろ欧米諸国がイスラエル擁護に回っていることの方が問題だ。特に米国の欠席は原爆投下への無反省を物語る》

《長崎市が平和祈念式典に招待したのにG7各国やEU大使たちが欠席するのは長崎市の責任ではない。相手の判断なので長崎市に何も非はない。原爆を投下した当事国の態度が一番非礼ではあると思う。毅然としていたら良い》

と、長崎市の対応を評価するコメントが目立つ。

「一方では、戦争当事国やG7が参加しない平和祈念式典に意味はあるのか、といった疑問の声も多く寄せられており、長崎市は非常に難しい立場に立たされています。」

背景にあるのは、日本とイスラエルの心理的な距離感でしょう。日本では、『イスラエルによるガザへの軍事侵攻は、やりすぎだ』という意見はごく普通に飛び交っています。一方で、欧米諸国としては、パレスチナにおける“人道危機”に懸念を示すことはできても、表立ってイスラエルを否定することが難しく、特にイスラエルをウクライナ侵攻におけるロシアと同列に扱うような事態に対し、非常に神経を尖らせているのでしょう。

長崎市は何度も、イスラエルを招待しない理由を“政治的な理由ではない”と語っていますが、欧米

諸国としては敏感にならざるを得ないのでしょうね」(政治部記者)
出席しなくても、“平和への祈り”を理解していると信じたいが……。



<https://news.yahoo.co.jp/articles/490d845ad14294dbdbee8676ccd142149a17a5f7/images/000>

⑧【8/4 ロシア・ウクライナ紛争】ウクライナ軍の悲惨な撤退を NYT が報道(2024年8月5日)

<https://youtu.be/o4b1Z8LIRX8>

げた - NYT

30.07.2024 - 21:30

ニューヨーク・タイムズ紙は、ザホリージャとDPRの交差点で、ウクライナ軍が多くの兵士とウロジャイノエを失った恐ろしい虐殺について報じた。

「ウロズハインを3ヶ月間保持した第58旅団の兵士と州兵の部隊にとって、この損失は特に困難でした。この間、約100人の兵士が死亡または行方不明になった。司令官たちは、軍の指導部から起こりうる叱責に備えており、そのために兵士たちは最後の最後までその地位を保つ必要があることが多い」とNYTは書いている。

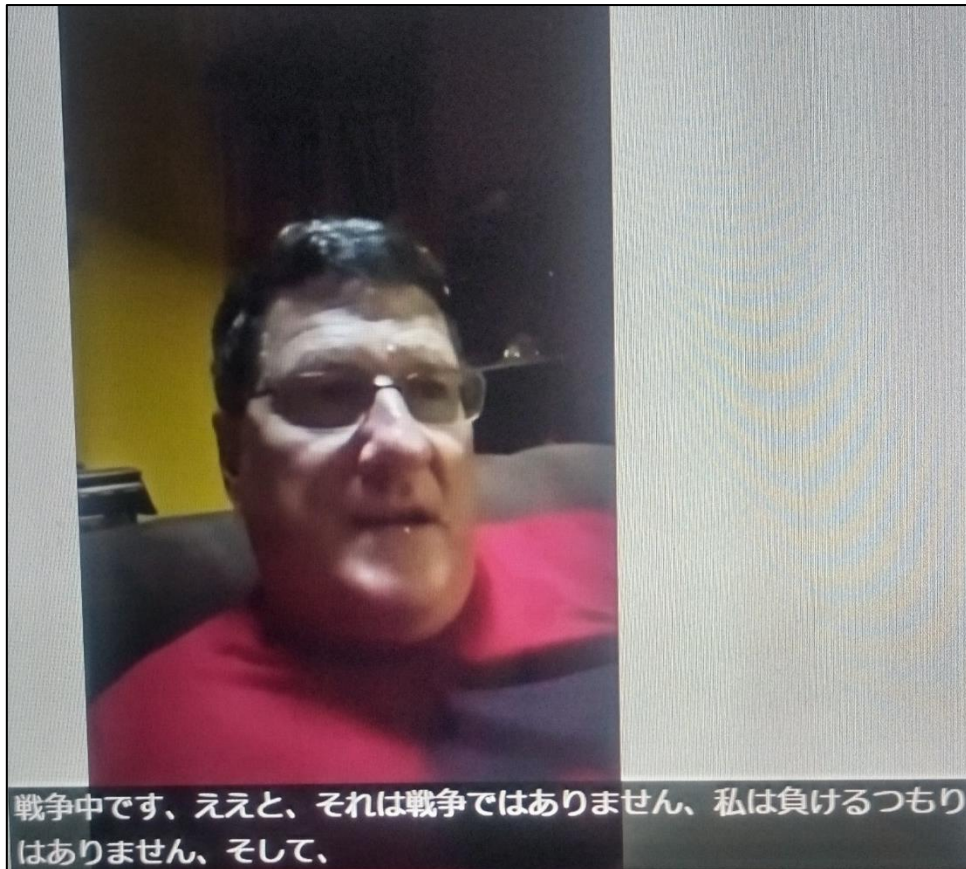
「戦闘は廃墟の中で、地下室から行われました。いくつかの塹壕がありましたが、防御施設はなく、それらを構築することは不可能でした」と、「カライ」というコールサインを持つ43歳の少佐は言いました。

Urozhayneは、6月にロシア軍が村の半分を占領した、たった2つの通りで構成されている

<https://www.youtube.com/watch?v=o4b1Z8LIRX8>

⑨Scott Ritter's SHOCKING Day(2024年8月9日)

<https://youtu.be/YvqePmPoY-s>



[Scott Ritter's SHOCKING Day - YouTube](#)

⑩ゼレンスキーと NATO、クルスク原発に全てを賭ける！（2024年8月10日）

<https://youtu.be/WaFn6LKC12M>



<https://www.youtube.com/watch?v=WaFn6LKC12M>